

文 書 質 問 書

令和2年4月30日

岩倉市議会議員 片岡健一郎

【質問事項】

(1) 岩倉市排水設備指定工事店の申請について
(担当部局からの回答)

岩倉市では、公共汚水ます（排水経路の最終ます）を岩倉市で管理し、費用を負担しています。（令和元年度支払額 約1,400万円）

岩倉市と岩倉市排水設備指定工事店とは公共ます設置工事の単価契約を取交わしており、排水設備工事にて宅内工事と合わせて公共汚水ますを設置していることから、一部公共工事であると考えています。

(各問に対する回答)

問	岩倉市排水設備指定工事店の申請の要件になぜ建設業法の許可を入れているのか。他市では入っていない、また、建設業法でも500万円未満の工事においては建設業の許可は不要とあるが、なぜ岩倉市は入れているのか、明確な回答がほしい。
答	近隣市町の現況を調べたところ、犬山市、大口町及び扶桑町が指定工事店規則に規定していますが、規定していない自治体も多数ありました。 経緯については分かりませんでした。現行の標準下水道条例にも規定がないため、規則から建設業法の要件を削除する方向で検討します。
問	岩倉市下水道排水設備指定工事店規則には岩倉市入札参加資格（工事）審査済みは要件に明記されていないが、なぜ、それを要件のようにするのか。法的根拠、効力はあるのか。

答	<p>上記にあるように公共工事であることから、岩倉市小規模契約希望者名簿及び岩倉市入札参加資格者名簿（建設工事）に登録されている市内の者を優先的に選定すべきと考えていますが、規則には明記されていないため、明記するよう検討します。</p>
問	<p>会社の信用を確認するために岩倉市入札資格審査が必要であると理由づけしたとしても、全ての指定工事店が岩倉市の審査を受けているのか、他市での審査の場合もあるのか。</p>
答	<p>指定工事店の登録審査をする際に入札参加資格（工事）が審査済みであるか確認しています。入札参加資格審査は代表審査で行われ、岩倉市以外で審査された場合も、その審査結果をもとに岩倉市で審査しています。（岩倉市入札契約審査委員会）なお、入札参加資格審査は、他市で審査済みである場合は岩倉市での審査は簡易なものとなります。</p>
問	<p>他市での審査で、なぜ岩倉市が信用を確認できるのか、他市での審査でも良いというなら、一宮市で排水設備指定工事店の資格を持っている業者がなぜだめなのか。（一宮市は、建設業の許可も、入札参加資格（工事）審査も要件としていない。）</p>
答	<p>排水設備指定工事店の審査は各市町で行っているため、岩倉市で審査が必要となります。</p>
問	<p>会社の信用を確認するために岩倉市入札資格審査を適用することは正しいのか。</p> <p>排水設備工事と入札工事では、工事の意味合いが大きく違うのではないか。（入札工事いわゆる公共工事を元請業者として市役者から受注したい場合には入札参加資格審査が必要で、その為には経営事項審査（経審）が必要となるが、排水設備工事は民間工事のため、法的にもそれらは必要ない。）</p>
答	<p>排水設備工事では、公共汚水ます設置工事も同時に行っているため、完全な民間工事ではなく一部公共工事であると考えています。</p>